

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 5年度学校評価 計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）  
 A：十分達成できている  
 B：おおむね達成できている  
 C：やや不十分である  
 D：不十分である

学校名	鳥栖市立田代中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、児童生徒が自ら「学び」に向かい、他者と協働して深く学ぶ必要がある。自ら学びに向かうことを促進するためには、みんな一緒ではなく、一人一人にあった課題に取り組むことも必要である。個別最適な学びを実現するためには、タブレットなどのICTの導入が不可欠となる。問題演習を繰り返してできるものや、児童生徒の課題の進捗状況を教員が確認できるものなど教科の枠を超え、ICTの効果的な活用の研究を進めていく必要がある。</li> <li>・本校は、500人を超える自転車通学生がおり、自転車運転のマナーの向上が継続した課題である。幸い大きな事故はなかったものの、自動車、自転車同士接触事故や転倒などの自損事故が今年度だけで30件以上発生した。交通安全教室を2度実施することにより交通安全意識の向上に努めたが、さらに全職員による継続した指導を行うとともに、PTAや地域と連携して一層の安全教育の推進を図ってきたい。</li> <li>・不登校や不登校傾向の生徒など学校不適応の生徒が増えてきており、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とのより一層の連携を図ることが次年度の課題である。</li> </ul>
2 学校教育目標	夢に向かって目標をもち、チャレンジする生徒の育成 ～ 自主性・自律性・寛容性の向上をととして「公の場で通用する人」をめざそう！～
3 本年度の重点目標	① 安心・安全な教育環境づくり【いじめのない学び合う集団の形成など】 ② 授業力・教師力の向上【校内研究会の充実、教師の学び合いなど】 ③ 各種行事や活動のクオリティアップ【田代中版「KAIZEN」など】 ④ 開発的な生徒指導の展開【一貫性のある指導、自主性のリスペクトなど】 ⑤ 褒め・支え・励まし合う人間関係づくりの推進【生徒会活動の活性化、不登校未然防止対策強化など】

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目										
重点取組	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師75%以上	・マイプランを一覧にし、提示する。 ・校内研究会の充実を図り、教師の学び合い(勤所の交換)を実施する							・学力向上コーディネーター ・研究主任
	○見通しを持って主体的に学びに向かう生徒の育成を目指し、全職員で授業改善を行う	○授業に主体的に参加したと回答した生徒の割合が80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」のステップアップを目指し、実践段階を向上させる。 ・全ての教科で重点目標を掲げ、授業研究会を実施する							・学力向上コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合が75%以上	・思考や価値判断を伴う道徳の授業が毎週展開できるよう、学年で協力しながら教材研究にあたる							・道徳教育推進教員 ・人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○安心安全に過ごせる学び合う集団であると回答した生徒の割合が75%以上	・年10回以上の生活アンケートを実施 ・いじめのちを考る日の毎月実施 ・週毎の生徒指導委員会にて、いじめ事案の経過を確認する							・生徒指導主事 ・教育相談
	●生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよところを認めてくれていてと思う」と回答した生徒75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒75%以上	・系統的なキャリア学習の展開やキャリアパスポートの効果的な活用を通して、中・長期の展望を持たせる ・進路に関する掲示物の整備や講演会の実施を通して、進路に関する関心を高める							・進路指導主事 ・各学年進路担当
●健康・体づくり	○生徒会活動の活性化を通して、支え合う人間関係づくりを推進	○不登校生徒数(出現率8.2%)を、前年比で減少させる。	・生徒会の自主性を高める活動推進(各種行事の実行委員会制、号令なし集会、校則の見直し等) ・不登校未然防止対策プロジェクトの立ち上げ							・生徒会担当
	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒80%以上 ●田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつ)の実践率を、前年度比から向上させる。 ●「健康に良い食事をしている」生徒70%以上	・部活動の推進及び地域移行への準備 ・田代スタイル(無言清掃・時間・あいさつ)の取り組みを、生徒会活動の活性化を通して推進する ・給食や家庭科の授業等を通して、望ましい食習慣と食の自己管理の大切さを指導する							・部活動担当 ・生徒会担当 ・給食担当 ・家庭科主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○「安全に関する資質・能力の育成」	○生徒の交通自転車事故防止啓発を強化し、事故率を前年度比で50%減少させる	・交通安全教室の複数回実施(特に1年生) ・PTAと連携して自転車点検や通学路点検を実施する。また、年間を通して啓発を続ける							・安全指導担当
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日の設定及び徹底 ・管理職による職員の勤務実態の把握 ・会議・行事等の縮減を図る ・業務の組織的運営と標準化を図る							・管理職
	○コロナ禍後の行事の見直し	○各月の企画委員会において、「戻す量」に注視した話し合いを慎重かつ丁寧に行う	・縮小や制限をきたした行事について、各種行事の効果や目的等を丁寧に検討する							・管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・年間授業時数の確実な実施(1年生20h、2・3年生35h) ・特別非常勤講師を招聘した体験活動の充実(茶道、着付け、俳句・川柳等)							
★佐賀県教委研究指定・外国語教育の推進	○英語科教育の実践充実	○教科研究会の実施(上期3回以上) ○小中連携による英語教育の推進 ○研究発表会の実施	・校内研究の一環としての取り組み ・小学校授業へ英語科教師を派遣 ・研究発表会の開催(11/10予定)							・英語科主任
★コミュニティスクール(学校運営協議会)の機能推進	○機能推進、地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の推進など	○年5回の協議会開催(授業参観含む) ○地域人材の活用、地域貢献・奉仕活動等の実践(昨年同等+α)	・年間計画を立て、効果的に実施							・管理職
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望										